

平成 27 年度 事業 報告 書

法人の名称 特定非営利活動法人 日本共創カウンセリング協会

1 事業の成果

活動 5 年目の 27 年度は念願の指定 N P O に指定された記念すべき年になった。相談・助言及びセミナー等の活動拠点は更に水戸センター開設により全国 8 箇所に拡大し、ひきこもり・不登校・こころの悩みを持つ方延 271 名へのカウンセリング中心の自立支援事業と講演会・セミナー等の普及・啓発事業等によって大きな社会貢献を果たすことができた。

共創カウンセラーの育成や各種委員会活動も活発に行った。活動資金の中核をなす寄附集めでは 134 名（役員・同居者除き 118 名）にご協力・ご支援いただいたものの、活動の幅の拡大、報酬制度導入等により赤字決算となった。特記事項では、有志による共創カウンセリング関連図書第 2 弾が 6 月に刊行され、普及・啓発の一役を担ってくれた。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① ひきこもり・不登校に関する自立支援事業

ア 個別相談会

- ・内容 ひきこもり・不登校で問題を抱える相談会員にカウンセリングを実施
- ・日時 毎月第 1 土曜日相模原&川口、第 2 土曜日千葉、第 3 火曜日四街道、第 3 土曜日水戸、第 4 日曜が世田谷&岐阜、糸満は個別設定
- ・場所 相模原市プロミティふちのべ、千葉市メンタルクリニックとみた、四街道市宇野家別邸、岐阜市生涯学習センター、世田谷砧総合支所区民集会所、水戸市民センター、糸満市内、川口市会員宅
- ・従事者人員 月平均 22 人（延 262 人）
- ・対象者 相談会員 延 271 人（他に付添家族延 143 人）

② 共創カウンセリングの普及・啓発事業

ア セミナー・協議会事業

- ・内容 ひきこもり・不登校に関心のあるセミナー会員向けに研修を実施した。
- ・日時 毎月第 1 土曜日相模原、第 2 土曜日千葉、第 3 火曜日四街道、第 4 日曜世田谷、糸満は個別設定
- ・場所 相模原市プロミティふちのべ、千葉市メンタルクリニックとみた、四街道市宇野家別邸、世田谷砧総合支所区民集会所、糸満市役所他
- ・従事者人員 月平均 18 人（延 212 人）
- ・対象者 セミナー会員 延 428 人

イ 活動紹介・PR 事業

- ・内容 Web サイトや取置ビラ、他団体交流によって、当協会と事業内容を紹介・PR した。
- ・日時 Web サイト：常時掲載（随時更新）、ビラ：月毎更新、団体交流：適宜
- ・場所 Web サイト：法人事務所、ビラ：相模原市&四街道市・水戸市他公共施設、団体・地域センター交流・PR：千葉・相模原・糸満にて
- ・従事者人員 月平均 7 人
- ・対象者 ひきこもり・不登校に関心のある不特定多数

ウ センター主催講演会・個別相談会

- ・内容 「ひきこもり・不登校の対応」「共創カウンセリングの基本的な進め方」「共創カウンセリングの具体的技法」（講師 3 名）
- ・日時場所 8 月 9 日（日）水戸市福祉ボランティア会館

10月18日(日)
相模原市立産業会館
(右写真)

- ・参加者数 講演89名、
個別相談9組



エ 外部団体主催の講演会・講習会3回に会員が講師・運営に参加

- ・4月13日(月)「専門校新入生のためのセルフケア」
総合学園ヒューマンアカデミー主催
50名(総合学園ヒューマンアカデミー原宿校)
- ・8月30日(日)「共創カウンセリングと技法」筆跡研究会主催
15人(放送大学東京足立学習センター)
- ・12月12日(土)「共創カウンセリングと筆跡診断」日本筆跡診断士協会主催
約50名(水道会館)

③ 共創カウンセラーの育成事業

- ・内容 1級資格研修修了者1名、総会等のカウンセリング研修受講者6名から提出された論文・テーマレポートを審査&再審査の結果、全員が共創カウンセラーとして認定された。(委員会12月23日)

<有資格者累計>指導講師1名、1級15名、2級40名、子ども5名

④ ひきこもり・不登校に関する調査・研究事業

- ・内容 調査研究の基本スタンスの方向性、研究成果のまとめ方他を協議。関連事業として、共創の学校づくり委員会を2回開催し、今後の計画を決定。
- ・日時 9月20日、12月20日
- ・従事者人員 調査研究委員延7名
共創の学校づくり委員延12名

⑤ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
(該当する事業は実施しなかった)

以上、特定非営利事業に係る支出額合計：748、459円

以上